

第 38 期 1stQ 営業会議スピーチ

2010 年 5 月 28 日

『38 期の変更点と今後』

1. 賞与について

これまでフロウエルの賞与は、年 1 回決算の際に業績連動型で支給していました。以前から一般の従業員にとって 1 年に 1 回では頑張った証を受け取るまでの間が長すぎてモチベーションの維持にマイナスだと感じていました。そこで今期より年 2 回の支給に切り替えます。半期決算の 9 月と通期決算の 3 月に業績に応じて賞与を支給します。営業成績を短期間に報酬へ反映させることで業務改善などへの意欲を末端の社員でも持続しやすくするのが狙いです。上期途中から下期の業績予想が芳しくなくとも、上期分の賞与を調整することはありません。あくまで半年間の業績を忠実に反映させて支給しますので、通期では黒字でも下期は賞与なしということも起こります。半年に 1 回決算をするような感覚だと考えて下さい。

2. 早洩生産管理棟内部改装について

営業倉庫が 6 月に早洩生産管理棟 3F へ移転する予定です。収納する部屋は総務部倉庫および製品製作部作業スペースとしても共同使用することになります。生産管理部も、滞留在庫と一緒に共同倉庫へ備品を収納します。

1F は、製品検査グループエリアを拡張し、旧顧問室はミーティングルームに用途変更します。その他、エントランスの改修工事をおこないます。今後も屋上やトイレなど順次直していく予定です。

3. コミュニケーション促進策

今期は、2007 年後半から続いた社内緊縮財政のうさを晴らしたいと思います。社内の雰囲気良くしていくためのコミュニケーション促進投資を積極的に行ないたい。具体的には 2 部署合同飲み会の強制実施（年 2 回、会社負担）、神奈川の従業員全員での屋形船、年末の全社納会復活等を考えています。

4. 今後の予定

39 期に射出成型機導入、40 期に大和作業所と早洩の製品製作部で製造部を立上げ社内生

産のスタディを開始します。生産管理部は、製品検査グループとクリーンルーム業務グループで構成し、製品管理グループは購買部として独立させます。

遅くとも 2013 年末までに本社機能を賃貸オフィスに移転し、総務部、営業部、購買部の移転を考えています。早渕生産管理棟は製造部、生産管理部、仲町台技術棟は技術部が 1 棟丸ごと使用します。新本社候補地は、二子玉川、自由が丘、横浜東口、横浜西口の順で検討・サーチ中です。

5. 新製品開発

技術的には、この 3 カ年計画の目玉は ZETA 注 1 ですが、インナーリング式フッ素樹脂継手 (20 シリーズ) とフレアー式 (60 シリーズ) を両方研究開発したメーカーは世界でフロウエルのみ。従って ZETA のハイブリッド方式はフロウエルでのみ開発できる世界初のフッ素樹脂継手です。完成した暁には販促活動もぜひがんばって下さい。

宜しく申し上げます。

注 1 現在の 80 シリーズにつけられた開発コードネーム